



平成30年9月21日

各位

上場会社名 株式会社 タカギセイコー
 代表者 代表取締役社長 八十島 清吉
 (コード番号 4242)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 林 延幸
 (TEL 0766-24-5522)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月14日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,760	1,130	950	420	154.57
今回修正予想(B)	25,830	640	510	70	25.76
増減額(B-A)	70	△490	△440	△350	
増減率(%)	0.3	△43.4	△46.3	△83.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	23,797	1,076	948	502	184.94

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	52,920	2,470	2,140	1,060	390.10
今回修正予想(B)	52,500	1,750	1,520	520	191.38
増減額(B-A)	△420	△720	△620	△540	
増減率(%)	△0.8	△29.1	△29.0	△50.9	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	51,905	2,540	2,290	1,520	559.46

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「1株当たり当期純利益」を算定しております。

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高は、車両分野向け大型カスタム成形部品の受注数量の減少、針無し注射器部品の米国審査機関での認可取得に、当社が想定したよりも時間を要していることにもなう本格量産の遅れや、金型受注高の減少が見込まれるものの、ノートパソコン用筐体部品の受注の増加等もあり、売上高は概ね前回発表数値通りに推移する見通しであります。しかしながら損益面では、上記の減収要因による機会損失の発生等により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前回発表の数値を下回る見通しとなりました。

また、通期の業績予測につきましても、第2四半期連結累計期間の業績予測に加え、車両分野向けカスタム成形部品等の受注数量の減少及び想定為替レートの見直し等により、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益ともに、前回発表の数値を下回る見通しとなりました。

※上記の予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上